



2018年8月8日

各 位

会 社 名 宮地エンジニアリンググループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 青田 重利
(コード番号 3431 東証第一部)
問合せ先 取締役総務部長 永山 弘久
(TEL 03-5649-0111)

子会社における設備投資計画に関するお知らせ

当社ならびに子会社の宮地エンジニアリング株式会社は、本日開催の取締役会において千葉工場に係る2018年度から2021年度までの設備投資計画を決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 設備投資の目的

当社グループの主力である道路橋、鉄道橋などの橋梁事業については、高速道路4車線化整備計画等、新設橋梁の発注は現在と同程度は持続するものと予想されます。一方、建設業界においては生産性向上、人材確保、協力会社も含めた社員の待遇改善等が課題となっており、コストの増加等企業格差が拡大していく事が予想され、更に安全施工と品質確保も強く求められております。

このような状況の中、当社グループでは働き方改革、i-Constructionなどの推進と併せて、今回の設備投資により一層の生産性向上を図り、競争力のある工場に再構築するとともに、新3K（給与・休暇・希望）を実現し、社員の安全と安心を確保する職場環境の創生を目指します。

2. 設備投資の概要

(1) 構内ヤードの整備と効率化

構内ヤードの整備および仮組立から発送までの一連のヤード管理システムの構築により、構内ヤードの使用率を高め、構外ヤードを縮小しコスト削減を図ります。

(2) 塗装工場の再構築

塗装設備の増設を含めた塗装工場の再構築により、塗装能力と品質の向上による一層のコスト削減を図ります。

(3) 新事務所建設

工場は千葉県の沿岸部に位置しており、大規模地震に備えて工場従事者・社員の安全・安心を担保するとともに、本社ビル（東京都中央区）で甚大な被害が発生した場合に備え事業の継続性を確保し（BCP）、かつ人材確保・定着化ならびに業務の効率化を目的に工場内に新事務所を建設します。

3. 投資金額

現時点では、2021年度までの4年間で総額50億円程度の投資を見込んでおります。

4. 今後の見通し

2018年度の業績に与える影響は軽微であります。2019年度以降につきましては、今後必要に応じて適切に開示してまいります。

以上